

# CASBEE<sup>®</sup> 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市中央市場 七本松駐車場	階数	地上4F
建設地	京都市下京区西七条北東野町90番地 他4筆	構造	S造
用途地域	準工業地域, 準防火地域	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2019年1月15日
敷地面積	5,654.21 m <sup>2</sup>	作成者	藪田裕史
建築面積	2,684.20 m <sup>2</sup>	確認日	2019年1月15日
延床面積	10,727.25 m <sup>2</sup>	確認者	田部幸一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

個別計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 1.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	外観の色彩については、落ち着いた色を使用し、周囲の街並みに調和するよう配慮し、地域性及びアメニティの向上に努めました。	その他 (特記事項なし)
Q1 室内環境	有害物質の少ない建材を使用し、室内空気汚染の低減に配慮しました	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を効果的に設け、敷地内外の環境に配慮しました。
LR1 エネルギー	太陽光発電設備を設け、再生可能エネルギーの利用に配慮しました。 換気、照明等の設備機器については、エネルギー効率を高めるよう配慮しました。	LR3 敷地外環境 適正な駐輪場、駐車スペースを設け、交通負荷の抑制に努めました。
Q2 サービス性能	バリアフリー等の機能性を考慮し、建物全体としての耐久性及び更新性を高めるよう配慮しました。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル可能な建材を使用し資源保護に努めました。 節水等を考慮し、水資源保護に努めました。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される